

2011年 第3回家庭教師研修会 ガッツ家庭教師 代表 古賀浩嗣

1 前回の復習

- ・リーダー理論 (PM理論)
- ・指導の工夫

2 研修の目的

- ・同志を見つける
- ・家庭教師にとって必要な技術の土台を学ぶ

3 研修の進め方

- ・研修中に気づいた大切なことはポストイットに記入する
- ・ブリッジングを使って、話を聞く
- ・心の栄養「ストローク」を交換する

コミュニケーションの心得:

笑顔・目を見る・あいづちをうつ・拍手をする・うなづく

4 生徒の信頼を手に入れるコツ

- ・信頼される人とは？
- ・信頼されるための土台 (アイムオーケー・主体変容)
- ・コミュニケーションテクニック (バックトラッキング・具体化・意味づけ・リフレーミング・勇気づけ)

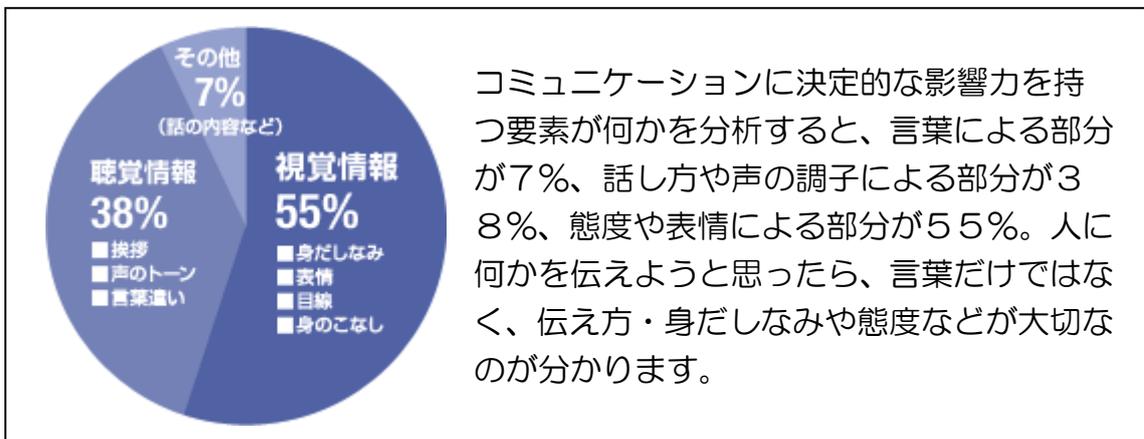
5 指導の悩み (指導上の問題点) を共有しよう

- ・悩みへ立ち向かうときの心得
- ・考え方の極意 (Solution Focused Approach)
- ・仲間と相談する

A. 信頼されるための土台

1. アイムオーケー
2. 主体変容
3. 信頼される人物像がどんなものかを知っている

B. メラビアンの法則



C. 信頼されない男ランキング

1. 自分の不満や失敗を全て人のせいにする
2. 「ありのままの自分でいたい」と欠点を直そうとしない
3. 仕事や学校を簡単にサボるなど、苦労からすぐに逃げる
4. 「どうせ俺なんか・・・」などマイナス発言ばかりする
5. 「俺って大器晩成だから」など、口ばかり大きなことを言う
6. 「上司が俺を評価しない」と嘆くなど、自己評価が高すぎる
7. やる前から「どうせ無理だよ」と諦めて行動しない
8. 苦手なことをすぐ他人任せにする
9. 「中学の頃はさ・・・」など、過去の自慢話ばかりする

(恋愛WEBサイト「スゴレン」11/04/20の記事より)

D. K 先生とダイスケの会話

背景：もっとやる気を出して勉強をしてほしいと思っていたK先生は、ある日教え子のダイスケ(中学3年)から今年の自分のテーマについて話をされました。K先生は、これを生かして、何事にも前向きに取り組めるようになるきっかけを作りたいと思い、下記のような会話をダイスケとしました。

- 01 ダイスケ： 「今年のテーマっていうのを年始に考えたんですよ。」
02 K先生： 「へえ。どんなテーマにしたの？」
03 ダイスケ： 「”挑む”をテーマにしました！」
04 K先生： 「そういうのを決めるってすごいと思うよ。どうしてそのテーマにしたの？」
05 ダイスケ： 「挑戦していく自分になりたいくて」
06 K先生： 「挑戦していく自分になりたいんだね(★1)」
07 ダイスケ： 「はい。自分ってダメなところばかりなんですよ」
08 K先生： 「ダメなところってどんなところ?(★2)」
09 ダイスケ： 「僕ってすぐ逃げちゃうんですよね」
10 K先生： 「逃げちゃう自分をどうにかしたいって思ってるんだね」
11 ダイスケ： 「はい」
12 K先生： 「分かるよ、そういうの。自分も中学生の時は、軟式テニス部で、運動苦手だったけど、部活楽しくてね。で、うまくなりたいたって思ってさ。ある日、1人練習メニューとか作って、すごく練習したんだ。そしたら、本当にうまくなったみたいで、校内の順位決めで1番なれたんだよね。今でも鮮明に覚えている。苦手な運動での初めての挑戦だった。何でも努力は報われるってことを感じ取られた瞬間だったよ。挑戦することって、すごくすてきなことだと思うし、ダメな自分を変えたいって思うこともすごいことと思うよ(★3)」
13 ダイスケ： 「先生にもそんなことがあったんですね。」
14 K先生： 「ところで、どうしてそういうこと思ったの?(★2)」
15 ダイスケ： 「僕って、周りの子から見くびられている気がするんですよね。だから、そんな子を見返してやりたいって思って」
16 K先生： 「そうかあ、そんな風を感じているんだ。僕は、ダイスケくんにはすごく良いところあって知っているし、逃げることもあるけど逃げないで取り組もうとする面もあるって思ってるよ。でも、そう思ってるのなら、何か一つ課題を決めて、逃げずに取り組んでみようか？」
17 ダイスケ： 「えー、あんまり自信がないです。。。」
18 K先生： 「失敗してもいいよ。うまくやれない自分だって、すてきな自分の一面だよ(★4)。じゃあ、たとえば、もしそれが達成できたとしたらどんな気持ち??(★5)」
19 ダイスケ： 「そりゃ、うれしいです」
20 K先生： 「どんな友達がどういう眼差しを持って接してくれているかを想像してみて。友達以外でも家族や先輩・後輩でもいいよ。その時自分だどんな気持ちになっているか想像してみて(★2)」
21 ダイスケ： (想像中)
22 K先生： 「どう、楽しい気持ちになった？」
23 ダイスケ： 「はい」
24 K先生： 「なら大丈夫。その楽しく感じた気持ちやうれしい気持ちを心に刻みつけておこう。僕もサポートしていくから、一緒にがんばって、ダメな自分を少しずつ変えていこう！」

E. 信頼を手に入れるコミュニケーションテクニック

★1. バックトラッキング

相手の話の中からキーワードを見つけ、そのキーワードを繰り返す質問の方法です。話を聞く場合、相手の本心を聞き出すことが大切ですが、バックトラッキングを使わずに、聞き手の意見をすぐに述べると、聞き手の思いが垣間見えることがあり、そうすると話し手が否定的な感情が芽生えることがあります。バックトラッキングを使用すると、ロールプレイのように本心を話してくれることが多いです。また、この際、声の調子（大きさ・速さ・高さ）を相手に合わせるとより効果的です。

★2. 具体化

人は無意識に、「これは、私にはできない」と決めつけたり、「自分は、〇〇だ!」と全体を一言で決めつけてしまうことがあります。これを「一般化」といい、この状態から相手を脱出させるために具体化という作業を行います。今回のロールプレイでは、「自分はダメなところばかりだ!」と言っているディスクに対して、具体化を行うことで、どんな部分がダメなのかを聞き出しています。

★3. 意味づけ

行動にどんな意味があるのかを伝えることは非常に大切です。宿題にしても、ただ「やれ」と上から命令しても言うことを聞いてくれない子がいます。そういうときは、意味づけをしてあげることが大切です。意味づけするときには、人から伝え聞いたことを言うのではなく、実体験でその意味を語れるとより信頼感が増します。

★4. 勇気づけ

何か新しいことを始めるときは誰でも不安感を抱きます。そんな時に、「一緒にがんばろう」とか「失敗してもいいじゃない!」という言葉を投げかけると、相手を勇気づけることができます。

★5. リフレーミング

ものごとの見方を変えることをリフレーミングと言います。例えば、「消極的」→「思慮深い」、「せっかち」→「行動的」というように見方を変えれば、長所も短所になります。ロールプレイでは、「できない」と思っていることを、「もし、できたらどう感じるの?」と質問をし、「できない」という固定観念をリフレーミングしています。

F. 家庭教師の共通の悩み

毎月送られてくるコーチングシートの内容を集計したもの（2010年09月～12月）回答総数 55名

1位	ケアレスミスが多い	34名
2位	宿題をやってきてくれない	23名
3位	あきらめが早い	13名
4位	1度やったことができなくなる	12名

G. 先生の悩みと解決策の紹介

チェック	課題	改善策
	実際、試験でテンパってしまって公式を忘れてしまう	テスト2週間前に 公式集 を作り渡す。プレッシャーを与えない。テスト前には前向きな言葉を与える。テスト形式でやらせる回数を増やす
	歴史が苦手	時代の流れやその時何が起こったかの、具体的に 年表を作って 流れをつかむ
	文法を練習するときの例文が難しすぎる	英検準2級のテキストの中から例文を出す
	すぐに答えを聞く。答えを丸写しする傾向がある	あまりきつく応じないで、「もう少し考えてみようか」と言葉を投げかけて、しばらくしてからヒントを出す
	単語を覚えることを面倒くさがる	毎回 単語テスト を実施する。毎日5個必ず書いて覚えるように指示。テストの際、覚えなかったり、あまりに点が低かったら宿題を増やすなどのペナルティを課す
	文章題に手をつけない	考え方を口に出しながら、目の前で解いてみる。下線の引き方を教える
	宿題を後回しにしてしまうことがある	宿題をやる時間を1日の中でしっかり決めて確保する。
	宿題をやるのに気分のムラがある	帰宅後にすぐやるように決めて、 習慣化 に努める
	自分の苦手な問題の宿題を出そうとすると「嫌だ」と拒否する	「いいからやれ！」というような注意の仕方はせずに、「 やらなくちゃ、次の問題も分からなくなるよ 」と優しく説得する
	ルーティンチェック表に目標の数の○がまだ付かない	目標の数を下げるのではなく、ルーティンの内容をもう少し減らす。その分目標以上の丸が付くように頑張ってもらおう。
	特に長めの長文や、文章を作る記述が苦手	短い小説を集めた本を読んでもらい 感想を交換 する。文字に出来なくても 口頭で説明 してもらおう。
	授業中に少しふざけすぎてしまう時がある	雑談などをして、授業や会話を楽しむことはコミュニケーションにもなるし大事だと思うが、行き過ぎると授業にひびいてくるので、時間を知らせて喋りすぎていることを伝えたり、 制限時間 を作って授業に集中させる。
	おしゃべりが多く、集中力が続かない	あまり相手にならないように気を付けて、「この問題が解けたら!」「20分後にね」と先延ばしにする。
	理解できていないまま、質問せずに終わってしまっている部分がある気がする	自分から質問をすることがほとんどない生徒なので、理解できていないかもしれないと感じた箇所については 生徒に説明させたり、小テスト をする
	宿題をためてしまい、まとめてやっていることが多くある	無理の無いように宿題の量を調整したり、「いつ」「何を」「どのくらい」やるのかという計画表と一緒に作成する
	一度解けた問題でも、一週間経つと忘れてしまう	英語や国語であれば、 声に出して 少しでも頭に残るようにし、数学では何度も説明をし、類似問題を与える。また、授業で説明した内容はいつでも見直してもらえるように まとめ を渡す
	何度も犯しているケアレスミスに対して自覚がない	ミスをした時に ミスの原因を書き出させて 、どうしたら防げるのかを 一緒に 考える。毎回書いているうちに同じミスをしていると自覚し、注意するようになると思われる。
	解答するたびにこちらの反応(正解か否か)を伺う	助け舟を出しすぎないようにし「先生がうなずかなくても自信を持つように」と言い聞かせる
	文章題が苦手	簡単な文章問題を解かせることで苦手意識を無くし、自信をつけさせる
	一問解くのに30分以上かかる時がある	30分以上かかるのであればすぐに打ち切り解説に入る。あるいはもう少し易しい問題を解かせる
	1回出来た問題も、2回目、3回目にやると間違える	正答率が安定しないので、 小テスト などにして覚えているか確認し、こまめに復習をしていく。時間が余った時などに復習をしていくようにし、生徒の間違いやすいパターンを把握するために よく観察する
	三角比特に30°と60°の場合のsinθ、cosθがあやふや	授業の始めに毎回三角形と表を書かせる。一発で正解が書けるようになるまで行う

チェック	課題	改善策
	統計に関連する英語表現が苦手	センターの過去問演習で第4問の練習をする。数字による表現、時制の表現は普段から気をつけるようにしてもらう
	ノートにページ数や問題番号が書けていない	毎回声かけ をして必ず書かせる。そうすることで、注意されるのが嫌になって自分から書くようになりクセがつく
	嘘をついた	今まではあまり怒ることはしなかったが、このことに対しては少しきつめに叱った。このように道徳的なことも教えていく
	今一度何の為に勉強してるか？	目的意識は大切 なので、何の為に今学習しているのかを再確認させる
	問題をよく読まない	問題の重要な箇所に線を引く ようにする
	計画を立てるのが苦手	あまり細かく計画を立てるのではなく、 最初は分かりやすい目標を1日1つ立て実行していく ようにする
	より簡単な解法に慣れようとせず、昔のやり方に固執してしまう	2者の使い分けを行い、どちらが素早く正確にできるかを自分で判断してもらう
	国語の作文・文法が苦手	どの教科を教えるときも「 どう考えてこう答えたか、言葉が上手でなくてもいいから説明してみて 」など、 思考の言語化 を促すことでトレーニングしている
	受験生としての意識が低い	受験が近く、今のままでは合格に届かないということを認識してもらうため、 模試を受験させ そのデータを見てもらう
	テスト範囲が網羅できない	前倒して計画を立てていき、 2日前からは予定を白紙 にしておき、勉強が足りなかったところを復習する時間にあてる
	間違えたところを赤ペンで直さない	見つけたら必ず注意する。 赤ペンで直すことにどんな利点があるのかも説明 をする
	数学で中々正しい方針が立てられない	入試ではパターン化された問題が多いので、 演習量を増やして 、パターンを身につけさせる
	参考書や宿題の忘れ物がある	指導にかなり影響するので、 毎回何をやるのかを連絡しておく
	テストの復習をあまりやらない	テスト復習専用のノート を作り、間違えた問題を書いてもう一度復習ができるようにする
	授業中に考え込みすぎる	分からないものは分からないと割り切って、せっかく質問する相手がいるのだから、どんどん質問させる
	漢字・言葉の意味が弱い為、文章読解力が弱く要約もできない	漢字や言葉の意味ノート を作成させて覚えさせ、テストでチェックする。毎回要約を課題に出し、文章をまとめる力を養う
	長時間勉強しても内容が薄い	難しすぎる問題は避ける。目標時間を定めた上で問題を解くようにする
	復習の習慣がなく、その重要性が分かっていない	問題を解くことだけで満足してしまう傾向があり、間違えたものを正しく理解させるために復習の仕方を教え、そのチェックテストをして習慣化していく
	トイレに行くと言って、出て行ったっきり戻ってこない	どうしようもない。。。。

■悩み解決ワークシート

<悩み・問題点・課題の内容>

--

<背景>

学年：小・中・高 ____年生 性別： 男子 ・ 女子 成績：
状況：

<使えそうなツテ>

人・モノ・本など

期待できること・やってもらえそうなこと

<改善策>

自分の意見

他の先生の意見

--	--

<アクションアイテム>

--

2011年、第3回家庭教師研修会 アンケート用紙

氏名： _____

1. 生徒の信頼を手に入れるコツについて

Q. 話・内容は役に立ちましたか？

大変役に立った ・ まあまあ役になった ・ あまり役に立たなかった ・ 全く役に立たなかった

自由記載欄(一番印象に残った内容・忌憚のない意見・率直な不満・感想などを自由にお書きください)

2. 指導の悩み(指導上の問題点)を共有しようについて

Q. 話・内容は役に立ちましたか？

大変役に立った ・ まあまあ役になった ・ あまり役に立たなかった ・ 全く役に立たなかった

自由記載欄(一番印象に残った内容・忌憚のない意見・率直な不満・感想などを自由にお書きください)

3. 今後の研修会に期待すること(どういうことが学びたいかなどを記載して下さい)

4. 研修会を終えて、これからの意気込みを記入してください

アンケートにご協力頂きありがとうございました。